

大分大学医学部医学科4年生 藤木利佳さん

令和3年度研究室配属発表会にてセッション賞を受賞

研究テーマ「軽症の原発性アルドステロン症に対するミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の効果」
(指導医: 吉田雄一助教)

この度私は、「軽症の原発性アルドステロン症に対するミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の効果の検討」というテーマのもと、研究ならびに発表をさせて頂きました。今回の研究は電子カルテを基盤としたデータ抽出や解析、統計処理が主であったため、不慣れな作業に手惑うことも多くありました。しかし、電子カルテの取り扱いや Excel による解析など初歩的なところから、担当の吉田先生の温かいご指導に支えられ、少しずつ前へ進めることができました。また、研究の過程で期待通りの結果が得られない場面においても、それは研究の難しさであると同時に、ときに次の展開へと結びつく興味深いものであり、臨床研究の醍醐味を垣間見ることができました。発表に際しても、先生方の丁寧なご指導により、自分の中での結果の解釈と分析にとどまらず、発信する立場として伝え方への意識の面でとても勉強になりました。短い期間ではありましたが、今後に繋がるとても有意義な経験となりました。改めてこの度、興味を持っていた内分泌糖尿病内科で研究させて頂けたことを大変嬉しく思います。この貴重な経験を心に留め、良医になれるよう精進していきたいです。末筆ではございますが、柴田教授、吉田先生をはじめこの度ご指導賜りました先生方に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

● 指導医 吉田雄一先生のコメント

今回、藤木利佳さんには臨床研究に取り組んでももらいました。研究開始前から藤木さんとは連携をとりながら研究結果の予想なども話しておりましたが、実際は予想通りの結果とはなりませんでした。想定外の結果となることで、違った視点から見直し、構想を組み直すといった研究の醍醐味に触れることができたのではないかと思います。本研究は最終的には想定よりも良い結果を導き出せることができました。いつかは論文文化したいと思います。

想定外の結果がでても、藤木さんはしっかりデータ入力や解析を続け、最終的には自分で考えることができるなど大きな成長がみられたと思います。研究に関する医学知識もしっかり独自で勉強し身につけており、発表の質疑応答にも適切な回答をしてくれました。素晴らしい学習態度だったと思います。藤木さんには今後も健康管理に気をつけながら医学学習に取り組み、充実した学生生活を送ってもらえたら幸いです。研究室配属、お疲れ様でした。ありがとうございました。

● HIRO'S EYE

藤木利佳さん、セッション賞受賞おめでとう！

今回の研究テーマは、原発性アルドステロン症の症例に対する薬物療法（MR拮抗薬）と患者さんのQOLについてのテーマでした。

昨年の研究室配属で行ったQOL調査の症例数を増やして、より軽症の症例でもQOLが改善するかを調べた内容です。結果は、軽症の原発性アルドステロン症の患者さんでも、健常人と比べてQOLの低下が8つの健康概念のうち複数の因子について低下しており、MR拮抗薬治療で3ヶ月後の時点で有意に改善することが示されたのは重要な結果です。

藤木さんはSF-36アンケート調査や臨床データを電子カルテから抽出して入力する地道な作業をしっかりと、統計処理を行って有意な所見を見いだしてくれました。発表会での質疑応答でもしっかりと堂々とした回答をされ、大変感銘を受けました。今回の経験を生かして、さらに頑張ってください。

（柴田洋孝）

